

# ウィーン・シュトラウス・フェスティバル・オーケストラ

*Strauss Festival Orchestra Vienna*

ニューイヤーコンサート  
*New Year Concert*

anniversary  
**40**  
周年

福島市音楽堂開館  
40周年記念事業

2025  
**1.12 Sun**

[開場] 13:30 [開演] 14:00  
ふくしん夢の音楽堂 大ホール

指揮&ヴァイオリン  
ヴァイリー・ビュッヒラー

バレエ  
マリー・ブルイユ

ソリスト(バリトン)  
アレクサンドル・ブシヤ

バレエ  
ベルナルド・リベイロ

ソリスト(ソプラノ)  
ローレン・アーカート  
©Devon Cass



©zuparino

## Program

◆ヨハン・シュトラウスII ※曲目と曲順は変更になる場合がございます。

喜歌劇「こうもり」序曲/ワルツ「美しく青きドナウ」/ワルツ「皇帝円舞曲」 他

## プレイガイド

◆ふくしん夢の音楽堂  
オンライン公演一覧▶



◆福島市役所売店

◆ローソンチケットLoppi [Lコード:20999]

チケット	会員価格	一般価格
Sペア	11,300円	12,600円
S	6,300円	7,000円
S学生	2,700円	3,000円
Aペア	8,100円	9,000円
A	4,500円	5,000円
A学生	1,800円	2,000円

※表記金額は税込です。

※ご購入後のチケットの変更・払い戻しはできません。※未就学のお子様のご入場はお断りいたします。※駐車台数に限りがありますので、バス・タクシー等の公共交通機関のご利用をお願いいたします。※演奏途中からの入場はできない場合がございます。開演時間に遅れないようにお越しください。

【お問い合わせ】 ふくしん夢の音楽堂 TEL.024-531-6221 〒960-8117 福島市入江町1-1

主催/ふくしん夢の音楽堂((公財)福島市振興公社)・福島市 後援/福島民報社・福島民友新聞社・福島テレビ・テレビユー福島・福島中央テレビ・福島放送





# ヴィリー・ビュツヒラー

(指揮&ヴァイオリン)

ウィーン・シュトラウス・フェスティバル・オーケストラ初の客演指揮者を20年務めた後、現在はペーター・グートと共に音楽監督の任を果たす。ウィーンに生まれ、ウィーン音楽大学でヨゼフ・シーヴォに師事。20歳でオーストリアのフォールベルク州立音楽院の教授に就任。ウィーンに戻ると、ウィーン放送交響楽団のヴァイオリン副首席を務めると共に、音楽大学で教鞭をとった。1992年から、ウィーン交響楽団のメンバーで構成されるイオス弦楽四重奏団のリーダーとしてコンツェルトハウスで定期演奏会を行う。1995年にはウィーン交響楽団のコンサートマスターにも任命されている。ウィーン放送交響楽団の第1ヴァイオリンの首席奏者も務めている。ウィーン・シュトラウス・フェスティバル・オーケストラではヨハン・シュトラウス時代の伝統を受け継ぎ、ヴァイオリンを手に指揮をし、純粋なウィーンの伝統を備えた演奏で、好評を博している。



# ウィーン・シュトラウス・フェスティバル・オーケストラ

1978年イタリアでのシュトラウス・フェスティバルを機に設立されたオーケストラ。1999年のシュトラウス・イヤーにはウィーン市から「世界に対してウィーン市を代表するオーケストラ」として選ばれている。これを機に2000年1月1日より、ウィーン・コンツェルトハウスでのニュー・イヤー・コンサートに出演する栄誉を授かり、いまだかつてない大成功を収めた。シュトラウス、レハール等のウィーン音楽には定評があり、美しい音色、ウィーンならではの魅力と喜びに満ちた演奏で聴衆を魅了している。ウィーン音楽の伝統を守り伝えていくという重要な役割を担っており、ヨーロッパでもトップのアンサンブルとして君臨する。

©zuparino



## ローレン・アーカート (ソプラノ)

アメリカ人のローレン・アーカートは2018年にヨーロッパへ移り、ウィーン・フォルクスオーパー史上最年少メンバーとして採用された2019/20シーズンから、同劇場のソリストとして活躍している。2022/23シーズンには、『ラ・チェネレントラ』のクロリンダ、『ラ・ボエーム』のムゼッタ、『魔笛』のパミーナ、『こもり』のアデーレ、『フィガロの結婚』のスザンナ、『サウンド・オブ・ミュージック』のマリアなどにデビュー。彼女は、ニュルンベルク国立劇場で初演された『アンナ・ニコル』でシェリー役を演じ、ドイツ・デビューを飾った。ヨーロッパに移ってからは、新曲の歌唱を得意とし、さまざまな初演に参加している。

©Devon Cass



## アレクサンドル・ブシャ (バリトン)

スイスのバリトン、アレクサンドル・ブシャは2016年にルツェルン音楽院のバルバラ・ロツハー教授のもとで演奏修士号を取得した。2015/16シーズンには、ルツェルン劇場のアンサンブル・メンバーとしてプリテン『アルバート・ヘリング』のゲジ氏やソンドハイム『スウィニー・トッド』のアンソニー・ホープ役を務めた。2016年9月より、ウィーン・フォルクスオーパーのアンサンブル・メンバー。2022/2023シーズンには、ブッチーニ『ラ・ボエーム』のマルチェッロ、モーツァルト『フィガロの結婚』のアルマヴィーヴァ伯爵、レハール『メリー・ウィドウ』のダニロ、そしてモーツァルト『魔笛』のパパゲーノ役を務める。



## マリー・ブルイユ (バレエ)

パリ生まれ。パリ国立高等舞踊学校で学んだ後、ゴルドー・オペラ座バレエ団に入団。2016年ウィーン国立バレエ団に入団。レパートリーは、ヌレエフの『くるみ割り人形』、『ライモンダ』、『白鳥の湖』、バラシンの『ジュエルズ』、『シンフォニー・イン・C』、エレナ・チェルニシヨワの『ジゼル』、ジョン・クランコの『オネーギン』など。



## ベルナルド・リベイロ (バレエ)

リスボンの国立コンセルバトリー・ダンス・スクール(EDCN)でプロフェッショナル・ダンサー養成コースを修了。2012年にノーザンバレエスクールに入学し、2週間で2年生に進級、2014年7月7日にコースを修了した。